

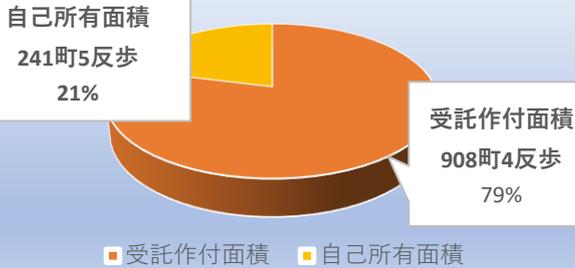
“地元米生産者の実態調査結果集計”

(取引先50に農業事業者アンケート結果)

「令和のコメ不足」将来に向けた動向調査で農業経営の支援を!

ゆきしんでは、取引先50農業事業者様からご協力を頂き、現在「令和のコメ不足」と言われている中で農業従事者への情報共有、将来に向けた農業経営の在り方を検討する上での一助として、2023年産米と2024産米について5町歩以上の取引先50先(平均作付23町歩)の実態調査を行い、令和6年度から予想される令和7年度の作付配分や販売単価、後継者等の状況を集計しました、今後の経営判断や指針としてご活用下さい。

令和6年度作付面積割合



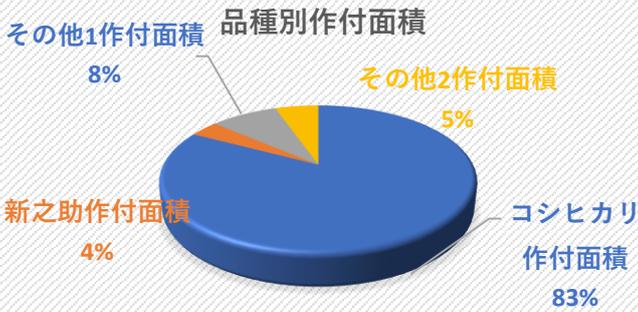
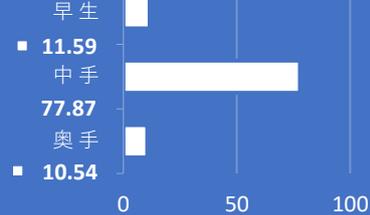
令和7年度作付面積割合



●農業従事者

総従事者	うち家族従事者	事業先最多従事者
228名	64名	19名
(平均4.6名)		

令和7年度作付配分(%)



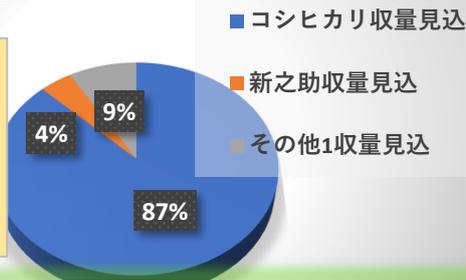
(その他2は種子、しめ縄用など収穫に至らない作付面積) その他の品種として「こがねもち」「こしいぶき」「つきあかり」「にじのきらめき」「ゆうだい21」などです。

※作付配分としてはコシヒカリの作付が多いことから中手の割合がおおく77%以上となっています。こがねもちの作付が早生の割合となっています。

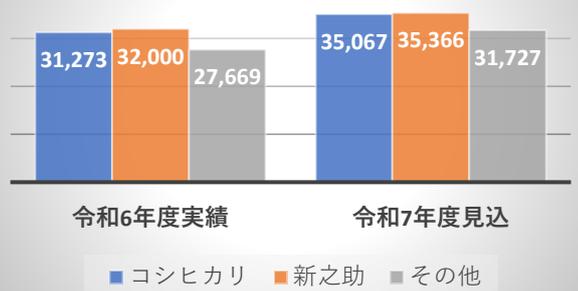
[総収量見込4,730トン(78,827俵)]

品種別収量見込み

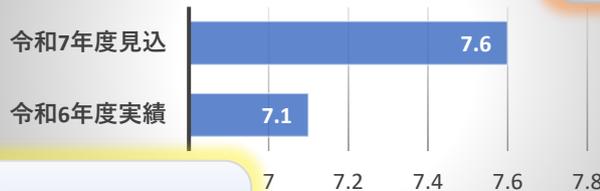
※全品種の反別平均収量見込みが7.6俵であり、こしひかりは他品種より収量が少なく、良質な栽培を行っていると考えられます。



平均販売単価(1俵あたり)



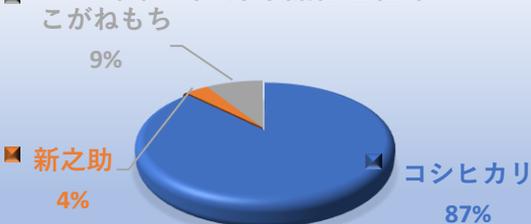
1反歩あたりの収量見込み



出荷先及び出荷割合

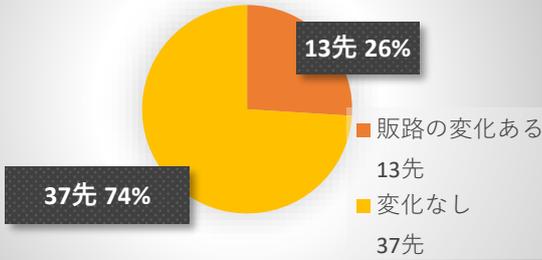


令和7年3月末品種別在庫



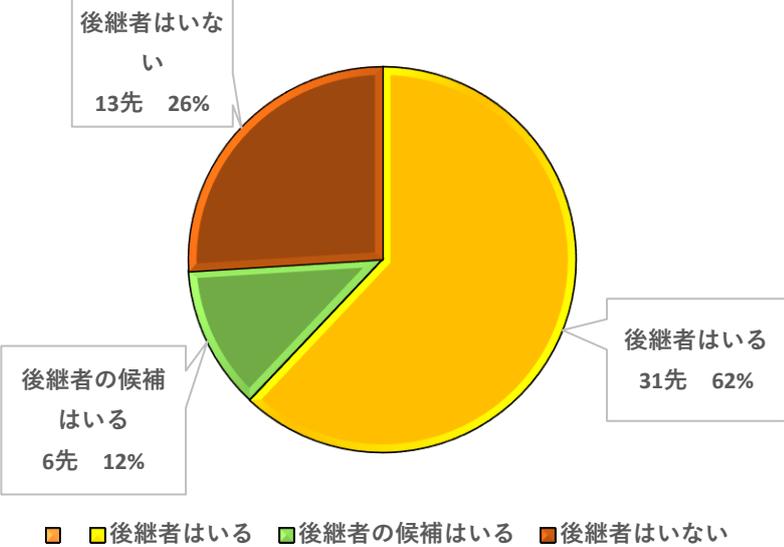
幸せの Yuki-Shin

新規出荷の変動

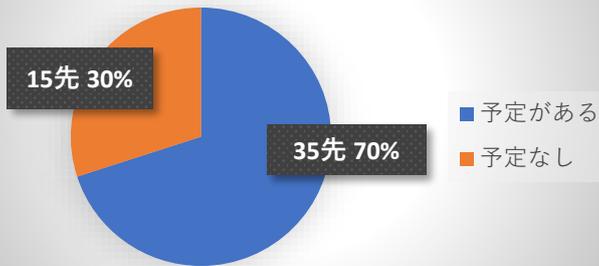


※新規の個人先や卸業者からの受注が増えている状況です。
 ※現状維持の37先はJAへの出荷やふるさと納税用を増やす予定です。

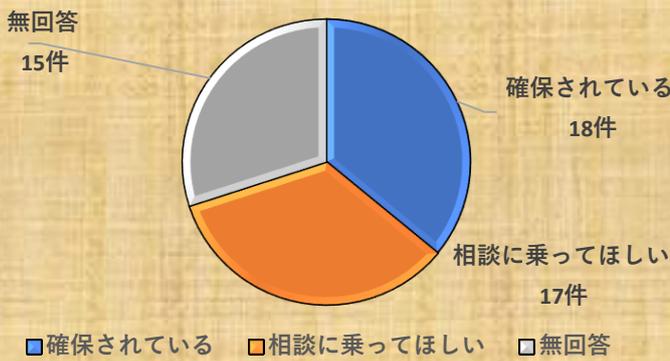
後継者の有無



農業機械購入予定



購入資金の確保



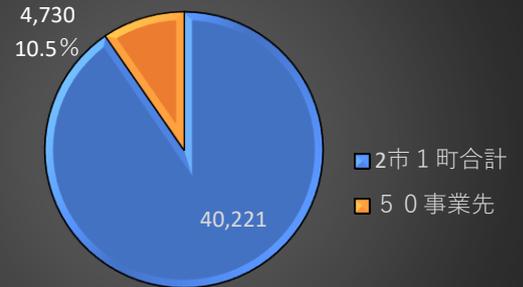
【その他の意見】

- ・土地の売買が多くなると見込まれる。その時の対応。
- ・現状で推移すると時価に左右され、客離れが生じる可能性がある。
- ・コンバイン購入、トラクター購入の資金調達。
- ・年貢として200~300俵の米を配ることを現金払いを検討している。
- ・ドローン等の利用や農業機械に乗れる若い人財の確保。
- ・大雪の影響で作業場が被害あり、建物の維持管理の見直し。

50先作付面積(町)



50先水稲収穫量(t)



【参考】『政府統計の総合窓口より』（2024年2月29日公表）

市町村	田耕地面積(町)	作付面積(町)	水稲収穫量(t)	反別収穫量(俵)
南魚沼市	5,590	5,130	25,400	8.25
魚沼市	3,000	2,440	12,100	8.25
津南町	1,650	1,430	7,450	8.68
2市1町合計	10,240	9,000	44,951	8.39
50事業先		1,224	4,730	7.60

政府統計資料の反別収穫量には収量の多い早生系品種が含まれています。

幸せの Yuki-Shin



ゆきぐに信用組合